

# 希少な鳥類が多く生息する北九州市若松区沖の白島

その白島に極めて近距離の洋上風力発電計画が進行中です。

私たち北九州支部はこの計画の見直し、もしくは事業想定区域の大幅な変更を求めます！

**事業想定区域**

6,000kwの風車 2 基  
風車の回転直径 141m  
海面からの最大高さ 176m

①オオミズナギドリ  
(日ソ・日豪渡り鳥条約掲載種)  
男島は国内でも数少ない集団繁殖地

②カラスバト(国天然記念物、絶滅危惧種)  
島嶼地域固有の希少種

③ミサゴ(準絶滅危惧種) 30近くの営巣地を確認

④ハヤブサ(国内希少野生動植物種・絶滅危惧種)  
女島で繁殖の可能性

⑤ヒメウ(絶滅危惧種) 白島は貴重な越冬場所

白島(男島・女島)鳥獣保護区  
(特別保護地区)

事業の名称  
(仮称) 白島沖着床式洋上風力発電事業  
(株) グローカル

群れで飛翔するオオミズナギドリも  
回転する風車の羽根に衝突する恐れ！

©(公財)日本野鳥の会  
(衝突しそうなオジロワシ)

©(公財)日本野鳥の会  
(風車に接近するマガンの群れ)

近年の白島およびその周辺海域における調査では、白島の陸上で46種、周辺海域で34種の鳥類を記録しており、そのうち希少種(絶滅危惧種・準絶滅危惧種、国内希少野生動植物種、天然記念物)は20種に及び。

中でも、白島を往来し、周辺の洋上を飛翔する鳥類にとって風車の存在がバードストライクや生息地放棄などの重大な影響を及ぼす可能性が大である。

出典：環境省委託地域固有環境情報調査事業<三洋テクノマリン>  
洋上風況観測システム実証研究、洋上風力発電システム実証研究環境調査報告  
<電源開発(株)>

## 特に大きな影響を受けると思われる鳥類

**オオミズナギドリ**～男島で集団繁殖の際、子育て・餌探しのため白島を往来の際、回転する風車の羽根に集団で弾き飛ばされる恐れあり。

**カラスバト**～海域の島嶼間を移動していると推定され、その飛翔の際に風車に衝突の恐れあり。

**ミサゴ**～国内外では特にタカ類の風車への衝突が多く、さらに衝突死が増える恐れがある。